

教会の春・夏・秋・冬・・・イースターってなに？

イースターは、イエス・キリストが死から復活されたことを記念する日です。キリストは、私たちが罪から救うために十字架にかかって死なれ、墓に葬られましたが、三日目に墓の中からよみがえられました。

キリストが十字架で息を引き取られたのは、金曜日の午後3時ごろ。ユダヤの一日は日没から始まりましたから、すぐ安息日である土曜日に入りました。それが二日目。そして日曜日、三日目の朝にキリストは復活されました。

今年のイースターは4月9日。イースターが年に

よって異なるのは、325年の第1ニカイア公会議で、春分の日の後にめぐってくる満月の後の日曜日を、イースターにすると決められたからです。

私たちは誰もがやがて死を迎えます。そして誰もが死を恐れます。しかし、キリストが死の闇を打ち破って、墓からよみがえられたことによって、私たちは死の恐れから解放され、天国の希望が与えられました。この希望をもって歩むことができるのは、なんと幸いなことでしょうか。



賛美歌誕生秘話 「墓の中に」

今回は、古くから歌い継がれているイースターの賛美歌「墓の中に」をご紹介します。作詞・作曲を手がけたのは、ロバート・ローリ(1826-99)というアメリカの牧師です。ある春の晩、彼が祈っているとき、突然、キリストの復活についての次の聖書の言葉が心に迫ってきました。

「あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、主がお話しになったことを思い出さない。人の子は必ず罪びとたちの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえると言われたでしょう。」


これを読んだ彼は、激しく心を打たれ、「イエス様は、本当に、本当に墓から復活されたのだ。本当に、今も生きておられるのだ」と感動しました。この感動から賛美歌「墓の中」の歌詞と曲が生まれました。

十字架にかかって死なれたイエス・キリストは、確かに墓の中からよみがえられたのです。私たちが絶望に縛りつける死に勝利されました。キリストの十字架と復活こそ、私たちのための救いの道だったのです。キリストの復活を信じて、その救いを受け取りたいと思います。そして、私たちも、死に勝利し、永遠の命の希望に生きる者になりたいと思います。

1. 墓の中に いと低く
葬られたり ああわが主
(折り返し)
陰府(よみ)より帰り
死と悪魔に勝ちし
君こそ勝利の主なれ
君こそ真(まこと)の主なれ
ほめよイエスを われらの神を

2. 番(ばん)し続けし 兵の努力
空(むな)しかりき ああわが主
(折り返し)

3. 封印 固き 門(かど)破り
出(い)で給えり ああわが主
(折り返し)



先に進まれる復活の主

イースターおめでとうございます。
人類最後の敵と言われる死は、私たちが絶望へと追いやります。だれも死をまぬがれることはできません。どんなに名声を博した人も、財を築いた人も、社会的に貢献した人も、死ななくても済む人など一人もないのです。そして、たいていの人は死を恐れます。なぜでしょうか。それは、自分はこのままでいざばかれるのではないかと、思うからです。死とさばき、これは全人類の定めと言ってもいいでしょう。聖書に「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」と書かれているとおりです。

しかし、イエス・キリストは、その人間の宿命を全く新しく変えてくださいました。ご自分が死の中から復活されることによってです。キリストは、罪のない神の子でしたが、十字架にかかって死なれました。それは、神様に背を向けて、自分勝手な歩みを続けてきた罪びとの私たちの身代わりでした。キリストは私たちに代わって、神様からの罰を受けるようにして十字架で死なれたのです。

けれども、神の子キリストが、死んでおし

まいになるはずはありませんでした。キリストは墓に葬られましたが、三日目によみがえられたのです。キリストの体に香料を塗るために墓に来た女性たちに、み使いがこう言いました。「イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます。」(マルコの福音書16章7節)

み使いのメッセージは、復活のキリストが先にガリラヤに行かれるということでした。「キリストが先に行かれる」、これは私たちに大きな励ましのメッセージです。私たちは、様々な困難や試練に遭います。「もうだめだ」と思うようなこともあります。その究極が死です。しかし、私たちのキリストが先に進まれます。私たちのために十字架にかかって死なれ、復活されたキリストが、私たちに先立って進まれるのです。

このキリストを見上げて従っていくなら、私たちも勝利することができます。罪と死と困難や試練に対して、打ち勝っていくことができるのです。先に進まれる十字架と復活のキリストを信じましょう。

宝塚栄光教会

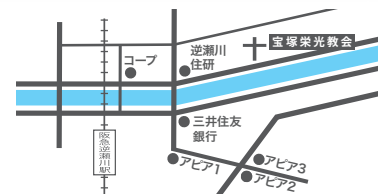
牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。



教会HP



礼拝動画



「ヤマネコノメソウ」－里山の野草－

春 気持ちのよい風が流れて 陽の光が照りだしている
何か 日射しが誘っているように思えて
少し足を延ばしてみる

田んぼのあぜ道を過ぎて 用水路の脇のあたり
少し湿り気のあるところに 小さな黄色の固まりが 目にとまった
ヤマネコノメソウだ ポツポツと咲き始めていた
小さな花だが 種がついた様子が 猫の目に見えるので
この名前がついたそうだ
日本中 どこでも見ることができる花だ
また ヒマラヤから 中国 日本
さらに 北アフリカ ユーラシア大陸 北アメリカにも 広がっている
でも 猫の目を連想して 名前をつけているのは 日本だけである
黄緑色の萼がくの上に 黄色の花をつけて 目につきやすく
直径は5mm 高さは10～20cm程である
ヤマネコノメソウには 花の後 茎の基のところに ムカゴができるという

桜の花の咲くころになると 気の早いヤマネコノメソウは 種をつけ始めて
その種は 雨によって拡散していくのだ
これを 雨滴散布という
小さな花には 大砲の弾のように 威力がある雨粒である

その日 その時は だれも知らない
天使たちも 子も知らない
ただ 父だけがご存じである
人の子が来るのは ノアの時と同じだからである

マタイ24章 (聖書)